

科目名		サウンド基礎			年度	2024
英語表記		Sound Fundamentals			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	発声の仕組み・聴覚の仕組み	自分が音をどうとらえているか理解する	1 ガイダンス	エンジニアとして音に対する思いを持つ	3	
			2 声帯と口	音を作り出す仕組みの理解		
			3 耳の仕組み	聴覚の仕組みの理解		
2	音の3要素と可聴範囲	音の基本構成を知る	1 大きさ	波形と大きさの関係の理解	3	
			2 高さ	波形と周波数の関係の理解		
			3 音色	倍音についての理解		
3	音の現象（音速・屈折・反射）①	音に起こる現象を理解する	1 音速	媒質と音の伝わる速さの関係	3	
			2 屈折	媒質内の音の速さの変化について理解		
			3 反射	音のエネルギーの分散についての理解		
4	音の現象（回折・干渉・ドップラー効果）②	音に起こる現象を理解する	1 回折	周波数ごとにおとの特性の理解	3	
			2 干渉	音波の合成について理解		
			3 ドップラー効果	ドップラー効果の理解		
5	dBについて・残響時間・定在波、フッッターエコー	音に関する単位を知る	1 dB（単位）	単位について知る	3	
			2 残響時間	残響の仕組みと設定について		
			3 平行面での音	定在波と鳴き龍についての理解		
6	定位とステレオシステム	聞こえる方向とシステムについての理解	1 定位	音量さと時間差の関係	3	
			2 モノラル	シンプルなシステムの理解		
			3 ステレオ	音の定位とシステムの理解		
7	マスキング・メーターの種類	メーターの使い分けを理解	1 VU計	送出レベルと聴覚の理解	3	
			2 ピークメーター	機械の入力の理解		
			3 その他のメーター	新しい規格について知る		
8	音響機器の性能、カタログスペックの読み方	機材の選定ができる	1 f 特	機材の周波数特性の理解	3	
			2 ダイナミックレンジ	機材の音量レベル表現の理解		
			3 その他の特性	機器の性能全般の理解		
9	マイクロフォンの仕組みと種類	マイクロフォンの仕組みを理解する	1 ダイナミックマイクロフォン	シンプルなマイクの仕組みの理解	3	
			2 コンデンサーマイクロフォン	スタジオマイクの仕組みの理解		
			3 リボン型マイクロフォン	旧式のマイクの仕組みの理解		
10	スピーカーの仕組みと種類	スピーカーの仕組みを理解する	1 コイルと磁石	電気と音の関係の理解	3	
			2 マルチウェイ	スピーカーの構造の理解		
			3 バッフル	スピーカーの構造の理解		
11	アナログとデジタル・AD/DAについて	アナログ・デジタルの利点を理解する	1 アナログ	従来のシステムの理解	3	
			2 デジタル	現在のシステムの理解		
			3 変換	デジタルとアナログの関係の理解		
12	スタジオの構造	スタジオの仕組みを知る	1 建物と箱	スタジオの構造を知る	3	
			2 吸音材	吸音材の仕組みの理解		
			3 ブースと2重窓	防音のシステムの理解		
13	スタジオの種類とスタッフ	目的別スタジオの使い分けを知る	1 バンド録音	目的別スタジオの構造を知る	3	
			2 放送局	目的別スタジオの構造を知る		
			3 ミックススタジオ	目的別スタジオの構造を知る		
14	録音の歴史～磁気録音とマルチトラック	録音の歴史を知る	1 レコードの記録	音の記録の元祖を知る	3	
			2 磁気録音	テープシステムの知識		
			3 PCへの記録	デジタル録音の歴史		
15	前期まとめと復習	全般の知識を深める	1 機材	基本的な機材について	3	
			2 音	基本的な音の現象について		
			3 スタジオ	スタジオ全般の知識について		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等